

平成28年 支部研修旅行 ― 中濃の旅 ―

教育部長 吉田美影

▼日時 平成二十八年十月三十日
▼行先 中濃（郡上八幡・美濃）

「昭和の三筆」現代仮名書壇の最高位にあられた故日比野五鳳先生の代表作品を所蔵されている岐阜県神戸町にある「日比野五鳳記念美術館」その秋季展初日と旅行日が運良く合い、今回の旅の目玉となりました。仮名の単体表現、漢字と仮名の調和「読める書」の制作など、日本の書の美を追求し続けられた作品は、やはりスゴイ。実物を間近にしなければわからない多くの発見があり、大満足。いくら観ていても飽きることがありませんでした。

お昼は「積翠園」でいただき、次の目的地「古今伝授の里フィールドミュージアム」へ移動。自然豊かな場所にある和歌をテーマとした野外博物館。「和歌文学館」では、万葉集から現代までの

歴史を一度に学べ、三十六歌仙にちなんだ、36メートルの展示物は圧巻。「東氏記念館」では歴史ある名家の出土品や、天皇が読まれた和歌を記した短冊など、歴史的価値のある文化品を鑑賞。和歌をテーマにした「東氏館跡庭園」散策。日本古来の和歌の世界観を堪能でき、自然の素晴らしさを満喫できました。

続いて「郡上八幡」自由散策。名水百選「宗祇水」へ立ち寄り、古い街並みをぶらぶら。何より水の音が心地良い場所でした。

日も傾きかけ、最後の目的地「美濃和紙の里会館」へ。和紙を使った土産選びに時間がかかり、集合時間ギリギリでバスへ。どの場所も時間を忘れて楽しめた、充実した旅となりました。

